

2024 年 6 月

地域自然情報研究会（現地 / オンライン 併用開催）

ナラ枯れ被害のモニタリングからみえてきたこと ～ 自然教育園での 5 年間の調査より ～

下田 彰子 氏 （国立科学博物館附属自然教育園）

国立科学博物館附属自然教育園では、2019 年にはじめて、カシノナガキクイムシの穿孔による樹木の立ち枯れ被害（以下、ナラ枯れ）が確認されました。それを受けて、以後 5 年間にわたり、コナラとスダジイを中心とした、ナラ枯れ被害のモニタリング調査を行ってきました。

同時に、調査だけではなく、ナラ枯れ被害への対策も行ってきました。しかし、確立された手法がなかったため、その状況に合わせて、各地の事例を見ながら、様々な試行錯誤を重ねてきました。

研究会では、モニタリングで見えてきたナラ枯れ被害の実態がどのようなものか、具体的に試行錯誤を重ねた対策や結果とともに、ご紹介します。



開催日時

2024年6月30日（日）13:30～15:30

参加費

1,000円（GCN会員は無料）

※現地会場に参加する方は、別途、自然教育園への入園料（320円）が、必要になります。

お申し込み・お問い合わせ

下記ホームページよりお申し込み下さい。

<http://www.geo-eco.net/>

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局
(gcnken@gmail.com 担当：梶並)

会場

国立科学博物館附属自然教育園2F研修室
及び
Zoomミーティング



※申込時に、現地会場への入場方法をお知らせ致します。必ず、事前申込の上、ご参加下さい。

地域自然情報研究会とは？

当NPOにて2006年から、年数回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。

GCN NPO法人
地域自然情報ネットワーク
The Geoecological Conservation Network

**NPO法人地域自然情報ネットワーク（GCN）は
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します**

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。

<http://www.geo-eco.net/index.html>